

平成 22 年度関東甲信越地区国立大学図書館職員研修
「関東甲信越地区大学図書館シンポジウム@つくば」実施要綱

1 テーマ「学習支援：2020 年これが図書館の生きる道」

2 趣旨

大学図書館をめぐる環境は大きく変化してきている。大学図書館の使命のひとつである教育支援は、教育方法の変化に伴い、学生の自主的な学習を支援する「学習支援」へと姿を変えつつある。電子ジャーナル・DB の充実による非来館型サービスの浸透により、一方で図書館の存在感が薄れてきている観のある中で、「学びの場」として図書館の存在意義を示すためにも、今回の研修を通じて教育支援から学習支援に変化している図書館の役割について考える。

3 主催 関東甲信越地区国立大学図書館協会(主担当:筑波大学)

共催 茨城県図書館協会大学図書館部会

4 日時および会場

平成 22 年 12 月 15 日(水)

筑波大学筑波キャンパス(春日エリア) 情報メディアユニオン 2 階 メディアホール

茨城県つくば市春日 1 丁目 2

※ 会場へのアクセスマップ (<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/access/>)



5 参加対象者

関東甲信越地区の国立大学職員、近隣の大学図書館、公共図書館、公民館図書室等職員
図書館に興味のある学生

6 プログラム

- (1) 受付 12:30～13:00
- (2) 開会 13:00～13:05
- (3) 基調講演 1 13:05～14:05
テーマ:「図書館員の新たな役割」
講 師:竹内比呂也(千葉大学文学部教授)
- (4) 休憩 14:05～14:15
- (5) 基調講演 2 14:15～15:40
テーマ:「学習支援と大学図書館」
講 師:井上真琴(同志社大学企画部企画室企画課課長)
- (6) 休憩 15:40～15:50
- (7) パネルディスカッション 15:50～17:10
テーマ:「図書館が行う学習支援」
コーディネーター:逸村裕(筑波大学図書館情報メディア研究科教授)
パネリスト:竹内比呂也、井上真琴、三津石智巳(筑波大学学群生)、熊淵智行(筑波大学附属
図書館情報サービス課長)
- (8) 閉会 17:10～17:15
- (9) 情報交換会(懇親会) 17:30～19:00

7 参加費

無料(ただし、情報交換会は別途会費3,000円を頂きます。)

8 Webページ

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/ibaraki-kenshu/2010.html>